

市区町村版: システムを使って何ができるの?

市区町村版のシステムでは、以下の機能を実行できます。

- 設問ごとの割合表示
- 円グラフの表示
- 棒グラフの表示

都道府県版: システムを使って何ができるの?

都道府県版のシステムでは、市区町村版の各種機能に加えて、都道府県の全市区町村の比較グラフを表示できます。

乳幼児健診データを何に使うか

University of Yamagata

1. 厚労省への母子保健事業報告
 - 問診票の検討: 標準化→個別指導に必要な項目を問診用へ
 - 集計方法の検討: テキストデータ化
2. 様々な分析 (地区診断、要因分析など)
 - 妊娠中の喫煙と低出生児の関係
 - ゆったりした気分と関連する要因
- 個別指導に使わなければ、上記の分析はいずれも個人情報不要 (分析は個人情報を外して行う)。
- 要因分析は集計ではなく個別情報でないとできない。
- 継続的情報を個人で突合するために個別番号が必要。
- 既存のシステムの活用、個人情報をはずしたデータのコンバートなど。

乳幼児健診データの利活用の意義

University of Yamagata

- データの利活用 (なぜ、個別データなのか)
 - 地域把握: 集計表である程度可能
 - 要因分析: 個別データの分析が必要
- 市町村の役割
 - 精度管理、事業評価
 - 縦断的なデータの分析
- 都道府県の分析
 - 地域格差の要因分析と改善方法の分析 (集団寄与危険など)
 - 全県の数が多いデータにより、属性別等の詳細分析ができる。
- 国の役割
 - 都道府県格差の分析、要因解明
 - オールジャパンとしての分析、国際比較

■ 集計データから個別データの分析へ

■ 特定健診の評価をレセプトで評価する (健診結果とレセプトの突合)

■ 事業評価などは、同意者だけの分析でいいの? 否 → がん登録

本システムと既存システムの活用

University of Yamagata

1. 既存の乳幼児健診等の入力システムの活用
 - 入力、集計、報告書作成、分析をすべてを既存システムでおこなう
2. 既存の乳幼児健診等の入力システムと本システムの併用
 - 個人情報をはずしたデータを本システムに移行する。
 - 入力は既存システムで行い、報告書作成、分析を本システムでおこなう。
3. 本システムの活用
 - 入力、集計、報告書作成、分析をすべて本システムでおこなう。

同意について

University of Yamagata

- 健康増進計画に特定健診の情報を利用する場合に個別の同意を取っているのであれば、個別の同意をとる。
- しかし、同意した人だけのデータで、地区診断なり、要因分析ができるか?
- 乳幼児健診のデータ活用についてもよく検討してください。

■ 集計データから個別データの分析へ

■ 特定健診の評価をレセプトで評価する (健診結果とレセプトの突合)

■ 事業評価などは、同意者だけの分析でいいの? 否 → がん登録

個人情報保護法と公衆衛生および学術研究利用

University of Yamaguchi

学術研究の目的で個人情報を取り扱う学術研究機関については、個人情報取り扱い事業者の義務等の適用除外(第50条1項)、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」第2章行政機関における個人情報の取扱いの適用除外(第8条2項)、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第2章独立行政法人等における個人情報の取扱いの適用除外(第9条2項)となり、また、その学術研究機関に対して個人情報を提供する行為については、「個人情報の保護に関する法律」第4章個人情報取り扱い事業者の義務等における主務大臣の権限の行使の制限(第35条1項)によって保護されます。

さらに公衆衛生の向上のために必要である場合には、「個人情報の保護に関する法律」利用目的による制限(第16条)、第三者提供の制限(第23条)の適用除外に該当します。

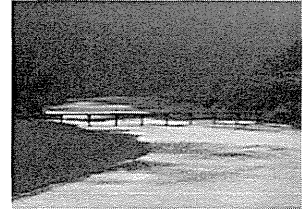
上流と下流 包括医療の重要性

University of Yamaguchi

- おぼれている人を見つけて、助ける。
- すると、翌日、また、おぼれている人を見つけて、助ける。
- 日々その繰り返し。
- この川の上流で何が起きているのか？
- 予防と医療の一体

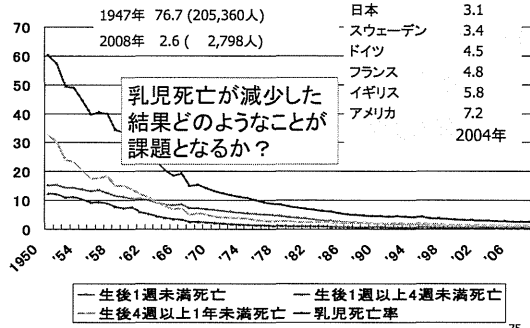
→ 包括医療

包括医療(ケア)とは治療(キュア)のみならず、予防(1次予防、2次予防、3次予防)を視野に入れた全人的医療(ケア)。



乳児死亡率の年次推移

University of Yamaguchi



ご清聴ありがとうございました。

研究は住民に始まり、住民に終わる

母子保健情報の収集と利活用に向けた「乳幼児健診情報システム」の開発と 都道府県への周知に関する報告

研究協力者 篠原 亮次（山梨大学大学院総合研究部医学域附属出生コホート研究センター）

研究協力者 秋山 有佳（山梨大学大学院医学工学総合教育部社会医学講座）

研究代表者 山縣 然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

平成 25 年度に実施された「健やか親子 2 1」の最終評価等に関する検討会においては、母子保健事業の推進のための母子保健情報の利活用が不十分とし、「問診内容等情報の地方公共団体間の比較が困難なこと」、「情報の分析・活用ができていない地方公共団体があること」、「関連機関の間での情報共有が不十分なこと」という現状課題をあげた。今後、地方公共団体における保健情報の分析・活用や問診内容等情報の地方公共団体間の比較などの促進による母子保健情報の収集と利活用を多くの市区町村・保健所に広く普及させていくことが大きな課題である。

これら課題を受け本研究班では、平成 26 年度に乳幼児健康診査（以下、乳幼児健診）における全国共通の必須問診項目の検討および提案を行った。さらに、本研究班が平成 17 年にアクセスというソフトを使用し開発した既存の乳幼児健診データ用簡易データベース（母子保健情報システム）を活用し、前記の必須問診項目用に改修し、市区町村版のシステムを作成した。しかしながら、アクセスを使用したシステムの開発は、自治体におけるシステムのインストール、入力項目の追加改修などに対して専門知識が必要なため汎用性が課題であった。

そこで本研究班では、使いやすさや汎用性を考慮し、自治体で一般的に使用されているエクセル（Microsoft Excel）ソフトを用いて、新たに乳幼児健診情報システム（市区町村版および都道府県・保健所版）の開発およびマニュアルの作成、また平成 27 年度母子保健指導者養成研修等事業（厚生労働省主催、一般社団法人日本家族計画協会事務局）における「健やか親子 2 1（第 2 次）」と母子保健計画の策定・評価と乳幼児健診情報の利活用についての研修において講義・演習を行ったので報告する。

A. 目的

平成 25 年度に実施された「健やか親子 2 1」の最終評価等に関する検討会においては、母子保健事業の推進のための母子保健情報の利活用が不十分とし、「問診内容等情報の地方公共団体間の比較が困難なこと」、「情報の分析・活用ができていない地方公共団体があること」、「関連機関の間での情報共有が不十分なこと」という現状課題をあげた。

これらの課題を受け本研究班では、平成 26

年度成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業

「乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究」（研究代表者：山崎嘉久）と共同して、乳幼児健診における全国共通の問診項目の検討および提案を行った。また、本研究班が平成 17 年にアクセスというソフト（Microsoft Access）を使用し、開発した既存の乳幼児健診データ用簡易データベース（母子保健情報システム）を活用し、前記の問診項目用に改修し、

市区町村版のシステムを作成した。さらに平成27年度には、都道府県・保健所版を作成予定としていた。しかしながら、アクセスを使用した都道府県・保健所版の開発は、自治体におけるシステムのインストール、入力項目の追加改修などに対して専門知識が必要なため汎用性が課題であった。そこで本研究班では、使いやすさや汎用性を考慮し、自治体で一般的に使用されているエクセル（Microsoft Excel）ソフトを用いて、新たに乳幼児健診情報システム（市区町村版および都道府県・保健所版）の開発およびマニュアルの作成を行うこととした。

本稿では、1. 乳幼児健診情報システムの開発、2. 自治体向けシステム・マニュアル作成、3. 平成27年度母子保健指導者養成研修等事業（厚生労働省主催、一般社団法人日本家族計画協会事務局）における「健やか親子21（第2次）」と母子保健計画の策定・評価と乳幼児健診情報の利活用についての研修、について報告する。

B. 方法

1. 乳幼児健診情報システムの開発

市区町村や都道府県の母子保健担当者が使いやすく、汎用性の高いシステムを提供するため、一般的に広く使用されているエクセル（Microsoft Excel）をシステムのベースとした。システムの設計概要は次の通りである。

1) 市区町村版

必須問診項目の入力画面、入力データの集計とその表示機能、項目ごとのグラフ表示機能、都道府県へのデータ報告用ファイル作成機能を備えたシステムとする。

2) 都道府県・保健所版

管内の各市区町村から送られてきた報告デ

ータの自動取込機能、各市区町村データの統合・集計機能、各市区町村別の項目別比較グラフ（統合データ平均値の表示も追加）、国への報告用ファイルの自動作成機能などを備えたシステムとする。

3) 自治体へのシステム配布方法

各市区町村への配布は、山梨大学設置のサーバーで運用している「健やか親子21ホームページ（HP、以下同様）」および「取り組みのデータベース」の機能を使用し、提供した。各市区町村はHPにアクセスし、取り組みのデータベースへの団体情報登録時に得た市区町村ごとのパスワード（PW、以下同様）を使用し、システムダウンロード画面へ進むようにした。これは、自治体関係者以外のアクセス制限を目的としている。

2. 自治体向けシステム・マニュアル作成

システム・マニュアルは次の4点を作成することとした。

- 1) 乳幼児健診情報システム・ダウンロード画面への入り方（市区町村用）
- 2) 乳幼児健診情報システム・ダウンロードガイド（市区町村用）
- 3) 乳幼児健診情報システム・マニュアル（市区町村版）ご利用ガイド
- 4) 乳幼児健診情報システム・マニュアル（都道府県版）ご利用ガイド

3. 平成27年度母子保健指導者養成研修等事業（厚生労働省主催、一般社団法人日本家族計画協会事務局）における「健やか親子21（第2次）」と母子保健計画の策定・評価と乳幼児健診情報の利活用についての研修

平成 27 年度母子保健指導者養成研修等事業（厚生労働省主催、一般社団法人日本家族計画協会事務局）、「平成 27 年度『健やか親子 2 1（第 2 次）』と母子保健計画の策定・評価と乳幼児健診情報の利活用についての研修」において、「乳幼児健診情報システムの基本的な利用・活用の仕方」、「都道府県の立場で乳幼児健診情報システムの応用について考える」の講義と演習の準備を行った。

また、研修終了後の参加者アンケート（一般社団法人日本家族計画協会事務局・作成：資料 2-1）の集計と記述内容をまとめた。

C. 結果

1. 乳幼児健診情報システムの開発

平成 27 年 2 月 16 日付、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課より都道府県、政令市、特別区へ事務連絡が通知された乳幼児健康診査必須問診項目は 15 項目であり、この 15 項目の入力システムとオプションとして推奨問診項目（山崎班提供）を追加した。市区町村から都道府県への報告データは自動的に作成され、受け取った都道府県でも同様に自動的に統合・集計される運用システムとなった（資料 2-2～5）。

2. 自治体向けシステム・マニュアル作成

マニュアルは以下 4 点を作成した。

- 1) 乳幼児健診情報システム・ダウンロード画面への入り方（市区町村用）（資料 2-2）
- 2) 乳幼児健診情報システム・ダウンロードガイド（市区町村用）（資料 2-3）
- 3) 乳幼児健診情報システム・マニュアル（市区町村版）ご利用ガイド（資料 2-4）
- 4) 乳幼児健診情報システム・マニュアル（都道府県版）ご利用ガイド（資料 2-5）

3. 平成 27 年度母子保健指導者養成研修等事業

（厚生労働省主催、一般社団法人日本家族計画協会事務局）における「健やか親子 2 1（第 2 次）」と母子保健計画の策定・評価と乳幼児健診情報の利活用についての研修
本研修会は、都道府県の母子保健担当者を対象に、「健やか親子 2 1（第 2 次）」の趣旨を踏まえた母子保健計画の策定と、新たに作られた「乳幼児健診情報システム」の利活用について学ぶことを狙いとして、全国 4 ブロック（北海道・東北、関東、近畿、九州・沖縄）の都道府県母子保健担当者に対して実施された。

具体的内容は、次の 2 点である。

- 1) 自身の市区町村の優先課題の抽出および整理、計画立案に生かしていくための指標・目標の設定、評価等の基本的な考え方などについて学ぶことで今後、各自治体で質の高い母子保健サービスを展開していくための能力を身に付ける。
- 2) 「乳幼児健診情報システム」の利活用では、情報システムの運用に必要な技術の習得と、システムを運用することでどのようなことができ、また、それをどのように活用できるのか等を学ぶ（資料 2-6）。

【日程（実施）】

・関東ブロック

日時：平成 27 年 9 月 24 日（木）

場所：大手町ラーニングルーム（東京）

研究班担当者：山縣然太朗（山梨大学）

篠原 亮次（山梨大学）

秋山 有佳（山梨大学）

・九州・沖縄ブロック

日時：平成 27 年 9 月 28 日（月）

場所：リファレンス駅東ビル（福岡）

研究班担当者：山縣然太朗（山梨大学）

篠原 亮次 (山梨大学)

秋山 有佳 (山梨大学)

・ 北海道・東北ブロック

日時：平成 27 年 9 月 30 日 (水)

場所：TKP ガーデンシティ仙台勾当台(仙台)

研究班担当者：山縣然太郎 (山梨大学)

篠原 亮次 (山梨大学)

秋山 有佳 (山梨大学)

・ 近畿ブロック

日時：平成 27 年 10 月 21 日 (水)

場所：TKP ガーデンシティ東梅田 (大阪)

研究班担当者：山縣然太郎 (山梨大学)

篠原 亮次 (山梨大学)

秋山 有佳 (山梨大学)

【内容 (実施)】

講義①：『「健やか親子 2 1 (第 2 次)」を踏まえた母子保健計画の策定にあたっての基本的な考え方』(山縣)

* 演習・グループワーク含む：「自分の地域の母子保健計画を考える」(資料 2-7)

講義②：「乳幼児健診情報システムの基本的な利用・活用の仕方」(篠原・秋山)

* グループワーク (情報共有) 含む：「都道府県の立場で乳幼児健診システムの応用について考える」(資料 2-8)

【研修後アンケート結果】

アンケート用紙と各項目の回答割合および各項目の具体的内容の記述を資料 2-9 に示した。各項目についての回答割合は以下の通りであった。

1. 各内容はいかがでしたか？

(忌憚のないご意見をお寄せください)

◆ 講義①『「健やか親子 2 1 (第 2 次)」を踏まえた母子保健計画の策定にあたっての基本的な考え方』(山縣)

* 選択肢：(低)【1 2 3 4 5】(高)

《理解度について》

回答 5：23.1%、4：53.8%、3：23.1%
2：0.0%、1：0.0%

《満足度について》

回答 5：33.0%、4：50.5%、3：16.5%
2：0.0%、1：0.0%

◆ 演習・グループワーク「自分の地域の母子保健計画を考える」(山縣)

* 選択肢：(低)【1 2 3 4 5】(高)

回答 5：12.5%、4：43.2%、3：38.6%、
2：4.5%、1：1.1%

◆ 導入・演習「乳幼児健診情報システムの基本的な利用・活用の仕方」(篠原・秋山)

* 選択肢：(低)【1 2 3 4 5】(高)

《理解度について》

回答 5：14.3%、4：47.3%、3：33.0%、
2：5.5%、1：0.0%

《満足度について》

回答 5：12.4%、4：43.8%、3：33.7%、
2：10.1%、1：0.0%

◆ グループワーク「都道府県の立場で乳幼児健診情報システムの応用について考える」(篠原・秋山)

* 選択肢：(低)【1 2 3 4 5】(高)

《理解度について》

回答 5：8.6%、4：43.2%、3：40.7%、
2：4.9%、1：2.5%

2. 乳幼児健診情報システムについてお聞きします。

◆ 県内 (市内) で既存のシステムをお持ちですか。

* 選択肢：持っている・持っていない

回答 持っている : 42.7%

持っていない : 57.3%

◆受講して今回のシステムを利用したいと思
いましたか。

*選択肢 : 1. 利用したい、2. 利用したくない
3. 利用できない、4. どちらともいえない
5. その他

《理解度について》

回答 1 : 57.5%、2 : 0.0%、3 : 6.3%、

4 : 35.0%、5 : 1.3%

3. 研修会全体の感想について

*選択肢 : (低)【1 2 3 4 5】(高)

回答 5 : 21.3%、4 : 42.5%、3 : 35.0%、

2 : 1.3%、1 : 0.0%

D. 考察

本研究班では平成 26 年度、乳幼児健診にお
ける全国共通の必須問診項目(乳幼児健診必須
問診項目)の検討および提案を行った。さらに、
平成 27 年度には、使いやすさや汎用性を考慮
し、自治体で一般的に使用されているエクセル
(Microsoft Excel) ソフトを用いて、新たに
乳幼児健診情報システム(市区町村版および都
道府県・保健所版)の開発およびマニュアルの
作成を行い、また平成 27 年度母子保健指導者
養成研修等事業(厚生労働省主催、一般社団法
人日本家族計画協会事務局)における「健や
か親子 2 1 (第 2 次)」と母子保健計画の策定・
評価と乳幼児健診情報の利活用についての研
修において講義と演習を実施した。

乳幼児健診必須問診項目は、「健やか親子 2
1 (第 2 次)」の指標をベースに乳幼児健診で
の必須項目として設定された 15 の指標および
下位項目で構成されている。これらは、個の状
況の把握や保健指導、さらにポピュレーション
アプローチとしての健康教育として重要であ

り、さらに問診結果の市区町村の集計値を都道
府県が把握し国に報告することによって、市区
町村や都道府県、国の評価につなげることを可
能にするものである。

これら情報の利活用促進には、健診情報の簡
便な入力や集計、報告が可能なシステムが必須
であり、また安価に導入できる必要があった。
そこで、本研究班では市区町村版、都道府県・
保健所版の乳幼児健診必須問診項目用システ
ムを新たに開発し無償で配布することで、各市
区町村が新たな入力システムを導入する必要
がなく、健診データの管理や市区町村・保健
所・都道府県・国の間で情報利活用が可能とな
る利点を提供できた。

一方、研修終了後の参加者アンケートについ
て、講義・演習の評価は、選択肢 3~5 (中程
度~高) の割合が約 80%を超えており、また
選択肢 4~5 (やや高~高) においても半数を
超えたことから、ある一定以上の理解や満足が
得られたと考えられる。また研修全体の満足度
に関しては、選択肢 3~5 (中程度~高) の割
合が約 99%、また選択肢 4~5 (やや高~高)
においても 60%を超えており、全体的に高い
満足度を得られた。しかしながら、自由記述に
は、研修日程が短かった点や PC (パーソナル・
コンピュータ) の持ち込みの不便さなどが挙げ
られており、今後の課題である。

本システムの活用により、市区町村で得られ
た乳幼児健診データを電子化して管理し、都道
府県・保健所にて管内市区町村分の電子化デー
タをまとめて集計・解析し、市区町村、さら
には住民へと還元、また市区町村から都道府県、
都道府県から国への情報集約が可能となる。こ
れにより「情報収集→分析→活用」の一連の過
程が実行され、さらにデータの全国比較や地域
間比較が可能となり、情報の利活用が促進され
ると考えられる。

今後、地方公共団体における母子保健情報の分析・活用や問診情報の地方公共団体間の比較等が本システムの活用により促進されれば、母子保健情報の収集と利活用を多くの市区町村・保健所に広く普及できる可能性がある。

【参考文献】

- 1) 平成 26 年度厚生労働科学研究補助金（健やか次世代育成総合研究事業）研究代表者：山縣然太郎．『健やか親子 2 1』の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究」平成 26 年度総括・分担研究報告書．2015 年 3 月．
- 2) 平成 25 年度厚生労働科学研究補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）研究代表者山崎嘉久．乳幼児期の健康診査と保健指導に関する標準的な考え方．2014 年 3 月．

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

☆ アンケートにご協力お願いします! ☆

本日は研修会へご参加いただき誠にありがとうございます。
皆様のご意見を基に今後も内容の充実した研修会を行っていきたいと思っておりますので、
下記アンケートにご協力をお願い致します。

1. 各内容はいかがでしたか？（忌憚のないご意見をお寄せください）

◆講義①『「健やか親子21（第2次）」を踏まえた母子保健計画の策定にあたっての基本的な考え方』

《理解度について》

(低) 【 1 2 3 4 5 】 (高)

<具体的にお書きください>

《満足度について》

(低) 【 1 2 3 4 5 】 (高)

<具体的にお書きください>

◆演習・グループワーク「自分の地域の母子保健計画を考える」

(低) 【 1 2 3 4 5 】 (高)

<具体的にお書きください>

◆導入・演習「乳幼児健診情報システムの基本的な利用・活用の仕方」

《理解度について》

(低) 【 1 2 3 4 5 】 (高)

<具体的にお書きください>

《満足度について》

(低) 【 1 2 3 4 5 】 (高)

<具体的にお書きください>

◆グループワーク「都道府県の立場で乳幼児健診情報システムの応用について考える」

(低) 【 1 2 3 4 5 】 (高)

<具体的にお書きください>

裏面もご回答ください

2. 乳幼児健診情報システムについてお聞きします

2-1 県内（市内）で既存のシステムをお持ちですか << 持っている ・ 持っていない >>

2-2 受講して今回のシステムを利用したいと思いましたが

1. 利用したい 2. 利用したくない 3. 利用できない 4. どちらともいえない 5. その他

<その理由をお書きください>

3. 研修会全体の感想について

(低)【 1 2 3 4 5 】(高)

<お気づきの点をご指摘ください>

ご協力ありがとうございました。

アンケート用紙はお帰りの際に回収箱へお入れください。

※当アンケートは今後の参考とさせていただくため、ご記入をお願いしております。

ご回答者に不利益が生じることはございません。

※講師や事務局へのご質問などをお書きいただいても回答できませんので、予めご了承ください。

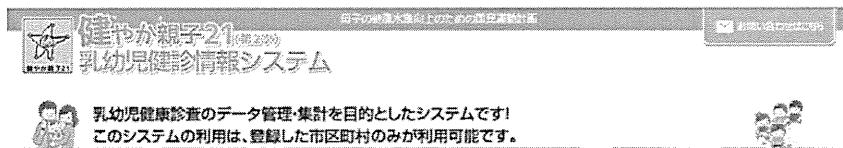
乳幼児健診情報システム（市区町村版）・ダウンロード画面への入り方

1、健やか親子21（第2次）ホームページ画面

<http://sukoyaka21.jp/>



2、乳幼児健診情報システム Top 画面



① 貴団体のパスワードを取得済の場合
★乳幼児健診システムダウンロード画面へ
注：パスワードは、取り組みのDBで事業登録した際のパスワードと共通です。

② 貴団体のパスワードを取得していない場合
▲取り組みのDB画面へ
注：取り組みのDBで貴団体情報・取り組みの事業を登録し、パスワードを取得して下さい。取得後、左記①からダウンロード画面へ進んで下さい。

各自自治体 母子保健担当者の皆様へ
乳幼児健診情報システムのダウンロードおよびご利用に際してのご案内

■ 乳幼児健診情報システムとは？
市区町村の乳幼児健康診査で得られたデータ等を市区町村や保健所が自領の母子保健活動に活用できるように支援するためのツールです。主に、データ管理・集計・報告を目的としてマクロでプログラムされたエクセルファイルで出来ています。下記の方法で無料でダウンロードしていただけます。

■ どのような項目があるの？
全国で共通の乳幼児健康診査で必須項目として設定された15項目です。
この15項目は、平成27年度より開始された「健やか親子21（第2次）」の指標となっており、各市区町村は毎年度調査を行い、都道府県は市区町村のデータを集計し、国に報告することになっています。
厚生労働省からの文書「『健やか親子21』（第2次）」の指標及び目標の決定並びに今後の調査方法について」

■ ダウンロード方法
ダウンロード方法は、「乳幼児健診情報システムのダウンロードガイド」をご覧ください。
なお、ダウンロードの際に、「『健やか親子21（第2次）』取り組みのデータベース」で団体情報を登録していただき発行される団体パスワードが必要となります。お取り扱いください。また団体情報の登録をさせていただきますが、「取り組みのデータベース」の登録画面から登録させていただいた場合、パスワードを取扱っていただきたく思います。

■ 団体情報の登録
団体パスワードを初発された場合は、以下のパスワード問い合わせ用紙を用い、FAXにてお問い合わせください。なお、パスワードの問い合わせが集中した場合は、問い合わせ用紙をFAXで送信いただいても、回答を差し上げることができず、数日お待たせする場合があります。何卒ご了承ください。

■ パスワード問い合わせ用紙

取り組みのデータベース
団体情報登録画面へ

乳幼児健診情報システム
ダウンロード画面へ

対応ブラウザはInternet Explorer9以上、Firefox(最新版推奨)、Google Chrome(最新版推奨)となります

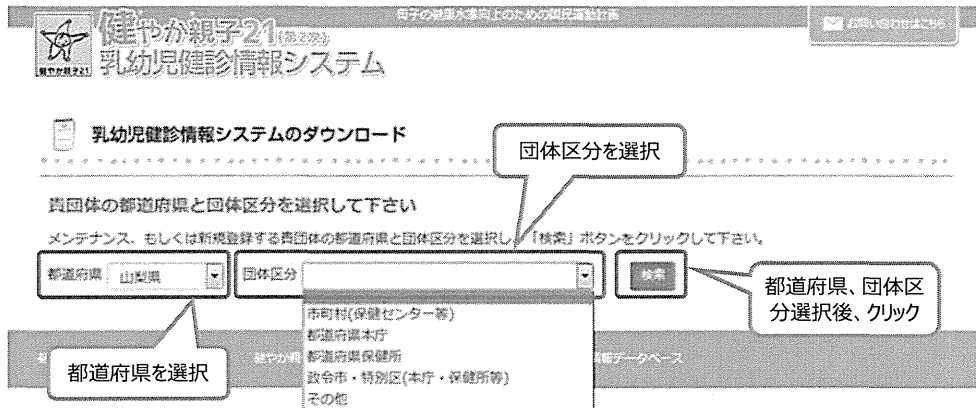


健やか親子21(第2次)
乳幼児健診情報システム

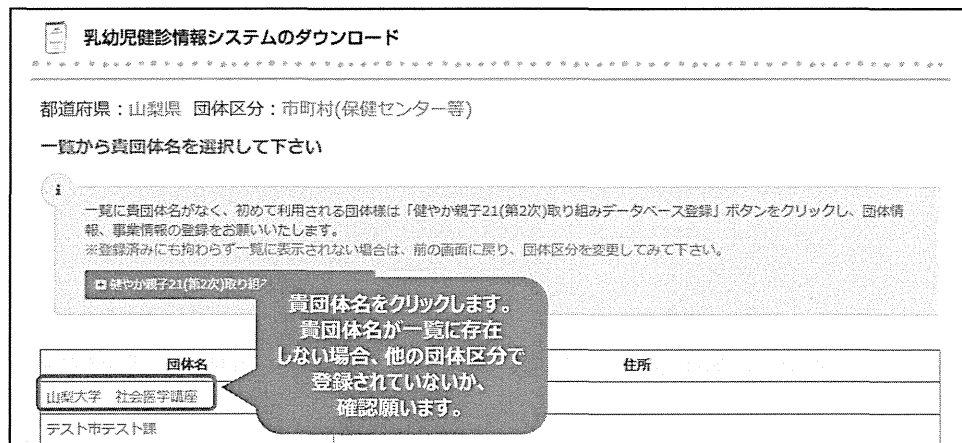
乳幼児健診システム
(市区町村版)
ダウンロードガイド

ダウンロード手順

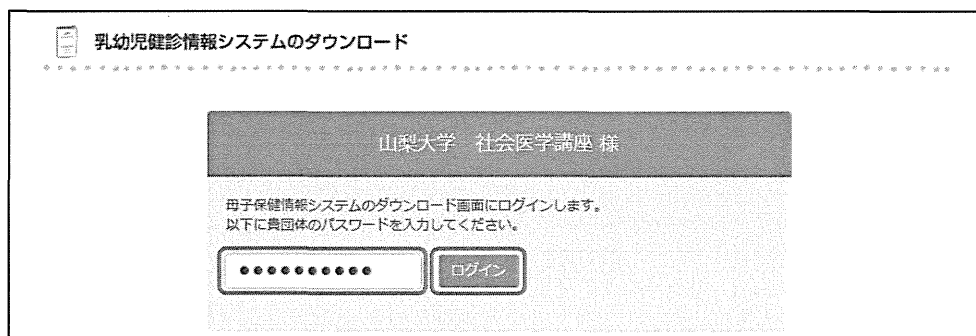
1. 乳幼児健診情報システムダウンロード画面にて貴団体の都道府県と団体区分を選択し、「検索」ボタンをクリックします。



2. 選択した都道府県、団体区分に該当する団体の一覧が表示されるので、一覧より貴団体名をクリックしてください。



3. パスワード入力画面が表示されるので、貴団体のパスワードを入力後、「ログイン」ボタンをクリックします。



4. ダウンロードいただくファイルは次の2つとなります。

・市区町村別の乳幼児健診システム入力用ファイル

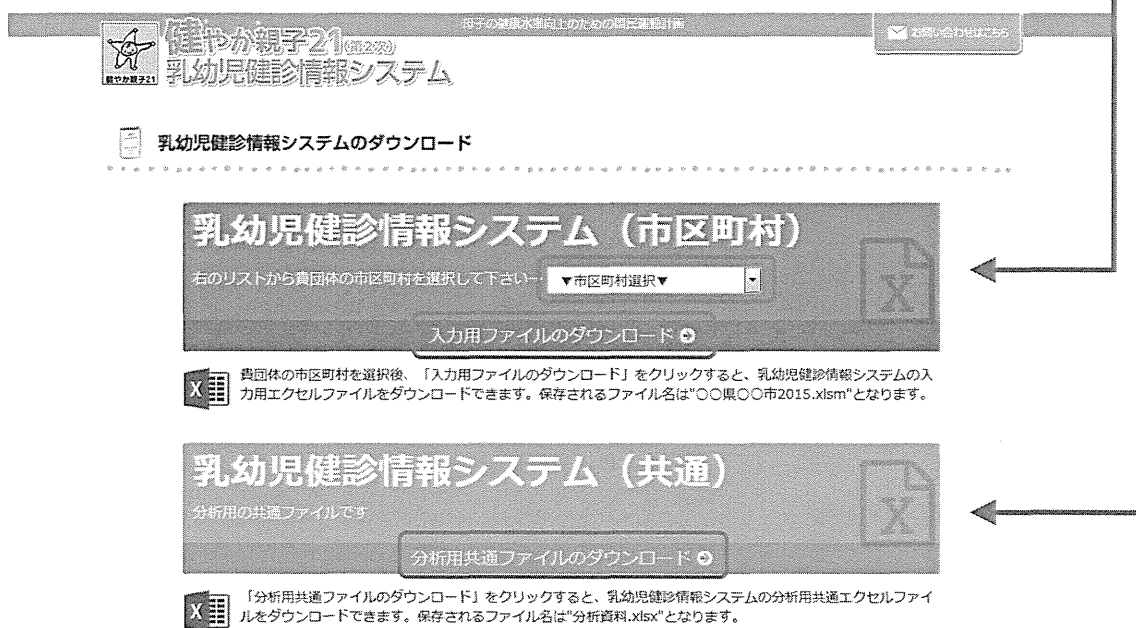
「乳幼児健診情報システム（市区町村）」と表示されている枠内から、貴団体の市区町村を選択後、「入力用ファイルのダウンロード」をクリックします。

ダウンロードされるファイル名は"〇〇県〇〇市 2015.xlsm"のようになります。

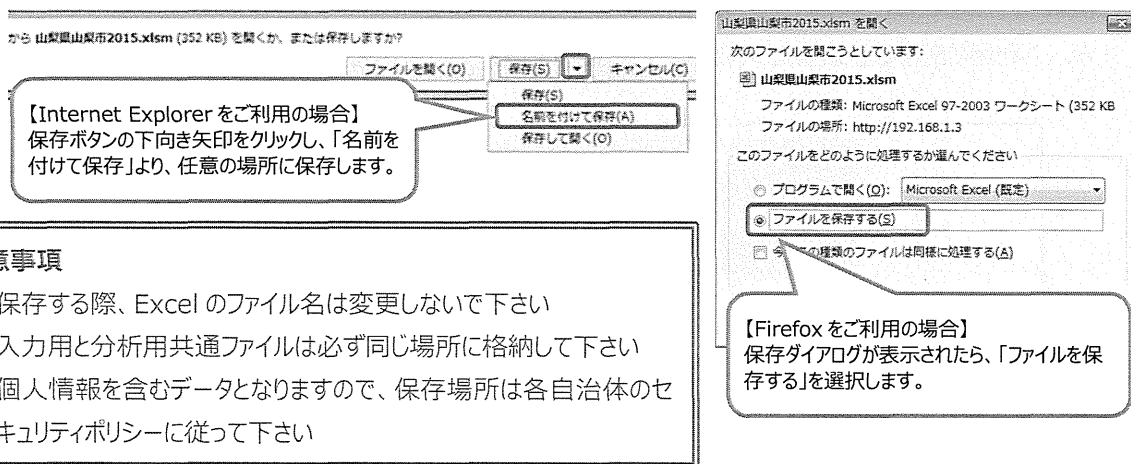
・分析資料用の共通ファイル

「乳幼児健診情報システム（市区町村）」と表示されている枠内から、貴団体の市区町村を選択後、「分析用共通ファイルのダウンロード」をクリックします。

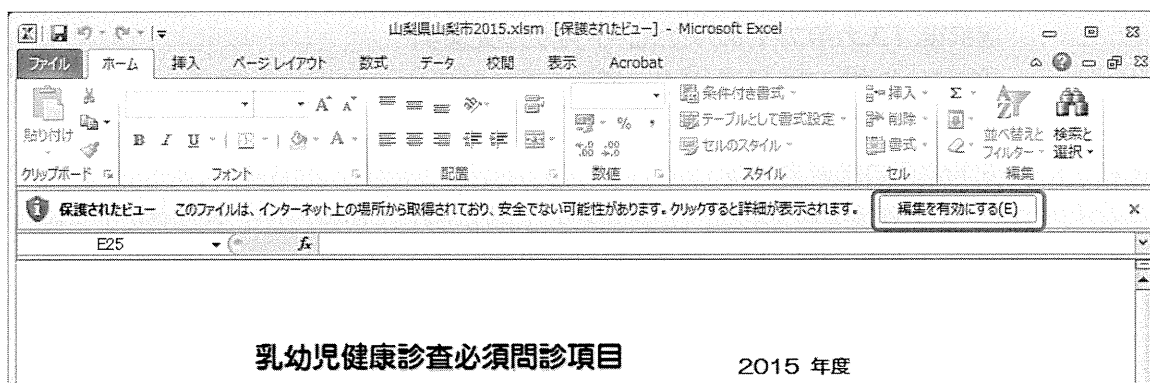
ダウンロードされるファイル名は"分析資料.xlsx"となります。



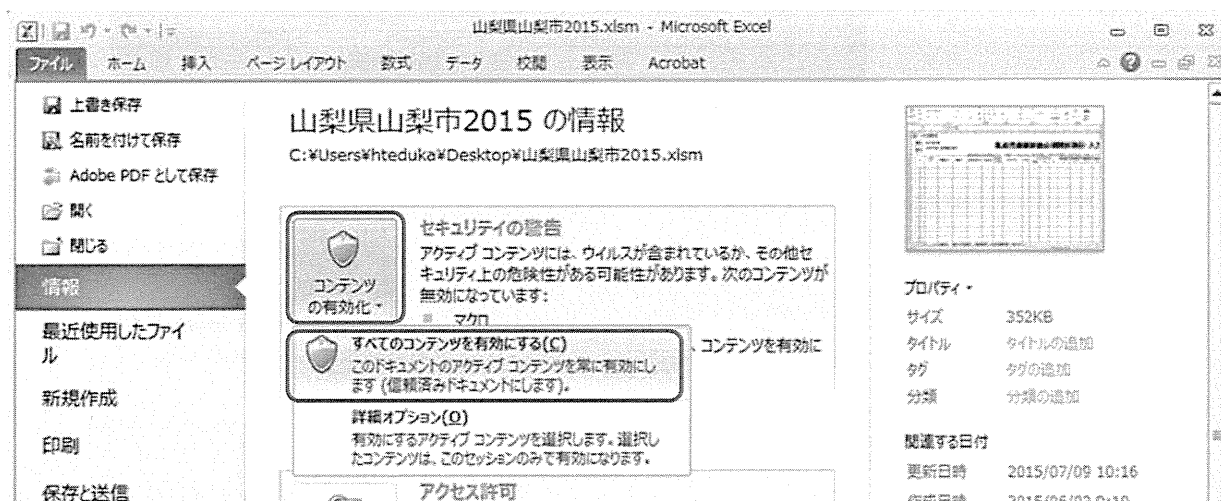
ファイルダウンロードの際は、ファイルを開かずに、必ず保存して下さい。



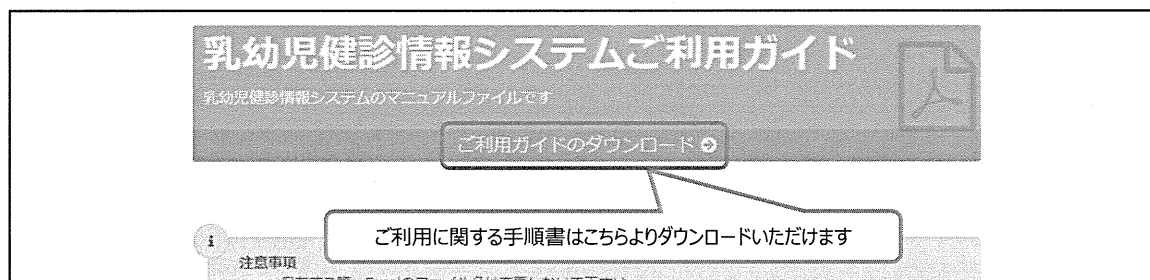
5. ○○県○○市 2015.xlsm という名前でダウンロードされた入力用ファイルを開き、以下のように「このファイルは、インターネット上の場所から取得されており、安全でない可能性があります。クリックすると詳細が表示されます。」が表示されましたら、「編集を有効にする」をクリックして下さい。



また、本エクセルファイルはマクロを利用しているため、[ファイル]-[情報]を開き、以下のように「セキュリティの警告」が表示されている場合、「コンテンツの有効化」をクリックし、「すべてのコンテンツを有効化する」をクリックして下さい。



6. ご利用に関する手順書については、下記よりダウンロードして下さい。





乳幼児健診情報システム・マニュアル
(市区町村版)
ご利用ガイド



健やか親子21(第2次)
乳幼児健診情報システム

- 目次 -

●乳幼児健診情報システムの全体構造と詳細	1
Ⅰ. テータの入力方法	5
Ⅱ. 入力したテータの集計方法	10
Ⅲ. 分析結果の作成方法	12
Ⅳ. 都道府県へ報告する際の報告用ファイルの作成方法	15

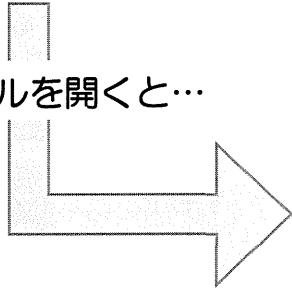
乳幼児健診情報システムの構造の詳細

入力用ファイル



〇〇県 〇〇市 2015.xlsm

ファイルを開くと...



この「操作画面」で、集計、分析結果作成、報告用のエクセルが作成できます。

乳幼児健康診査必須問診項目

2015 年度

コード 〇〇〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市

〇この『操作画面』のシートは、入力したデータの『集計』、『分析結果作成』、『報告用作成』を行うシートです。

〇データの入れ方は、『3・4か月入力用』『1歳6か月入力用』『3歳入力用』のタブをクリックし、シートを開いて行ってください。

〇入力が終了したら、保存して、またこの『操作画面』のシートに戻ってください。

②「集計」を押すと...

3・4か月 集計

1歳6か月 集計

3歳 集計

分析結果 作成

報告用エクセル作成

①

3・4か月入力用 1歳6か月入力用 3歳入力用 3・4か月集計表 1歳6か月集計表 3歳集計表

①

入力用のシートです。
入力するとこのようになります。

〇〇県 〇〇市 2015年度
〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市

乳幼児健康診査必須問診項目・入力シート

No.	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名
1	1.8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	1.8	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	1.8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	1.8	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	1.8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	1.8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	1.8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	1.8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	1.8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	1.8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	1.8	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12	1.8	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

①

「確認」を押すと必須項目の入力漏れのNoとセルを教えてください。

〇〇県 〇〇市 2015年度
〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市

乳幼児健康診査必須問診項目・入力シート

No.	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名	項目	項目名
1	1.8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	1.8	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	1.8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	1.8	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	1.8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	1.8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	1.8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	1.8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	1.8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	1.8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	1.8	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12	1.8	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

②

集計表のシートです。
入力したデータが集計されます。

〇〇県 〇〇市 2015年度
〇〇〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市

3・4か月集計表

調査指標回答一覧表

J-D	項目	番号	指標名	設問	回答例	回答数			割合	
						男	女	合計		
A03	高体温頻度A	3	高体温頻度A	発熱、連続してからの1か月未満、熱さましや解熱剤を服用している割合	1 はい	6	2	0	8	44.4
					2 いいえ	4	3	0	7	38.9
					3 不明	1	2	0	3	16.7
A05	高体温頻度A	5	高体温頻度A	発熱中、あなただけおさまる頻度	1 はい	12	8	1	21	19
					2 いいえ	8	7	0	15	75.0
					3 不明	4	1	0	5	25.0
A05	高体温頻度A	5	高体温頻度A	発熱中、あなただけおさまる頻度	1 はい	12	8	1	21	20
					2 いいえ	60	30	0	90	
					3 不明	4	1	0	5	
A06	高体温頻度A	6	高体温頻度A	発熱中、あなただけおさまる頻度	1 はい	6	3	0	9	56.3
					2 いいえ	4	3	0	7	43.8
					3 不明	2	2	0	4	
						12	8	0	20	10